

喜多方高校 進路だより

(第8号)



2020年8月28日(金)

喜多方高校進路指導部

7月進研模試の結果を受けて(1～3年生 全学年)

～まもなく全学年とも個人成績票が渡されます～

模試の目的

①志望大学との「距離」を測る ②弱点を把握する

※判定・偏差値に一喜一憂せず、間違った問題を何回も見直す。

- 模試問題や答案は科目別にファイルし、できなかつた問題は印をつけておき、入試直前にウィークポイントを確認する。このファイルは絶対に役に立つ。
- 成績のいい生徒は易しい問題でミスをしない。「できると思う問題」でミスをする生徒は、学習の際に「だいたいできる」「まあいいか」「…のつもり」で終わっている。できる・できないの差は、「だいたい」の学習なのか「きちんと」の学習なのかの違いである。
- できる生徒は、基本問題を速く正確に解ける。だから、応用問題に時間をかけられる。もう一步の生徒は、基本問題に時間がかかり、応用問題に十分に取り組めない。応用問題の出来・不出来で差がついているように見えるが、実は基本問題を速く正確に解けるかどうかの差である。特に、数学や物理・化学では計算力がこの差を生む。計算力がないと時間もかかりケアレス・ミスが出る。

【9月の進路行事】

9月 4日(金)～5日(土)	ベネッセ駿台共通テスト模試(3年生)
9月10日(木)	福島大学訪問(1年生全員+2年生希望者) ←中止
9月11日(金)	小論文模試(3年生希望者)
9月18日(金)午後	1学年生対象「進路講演会」
9月19日(土)	校内模試(3年生の大学・短大進学者)

【福島大学訪問(進路行事)の中止について】～生徒、保護者の皆さんへ

新型コロナ感染拡大防止対応により中止になったオープンキャンパスの代替として福島大学訪問を計画していました(9月10日実施、1年生全員と2年生の希望者対象)。しかしながら、このたび学内で集中講義に参加していた学生の新型コロナウイルス陽性反応の報道を受け、本校内で検討した結果、福島大学訪問を断念するに至りました。

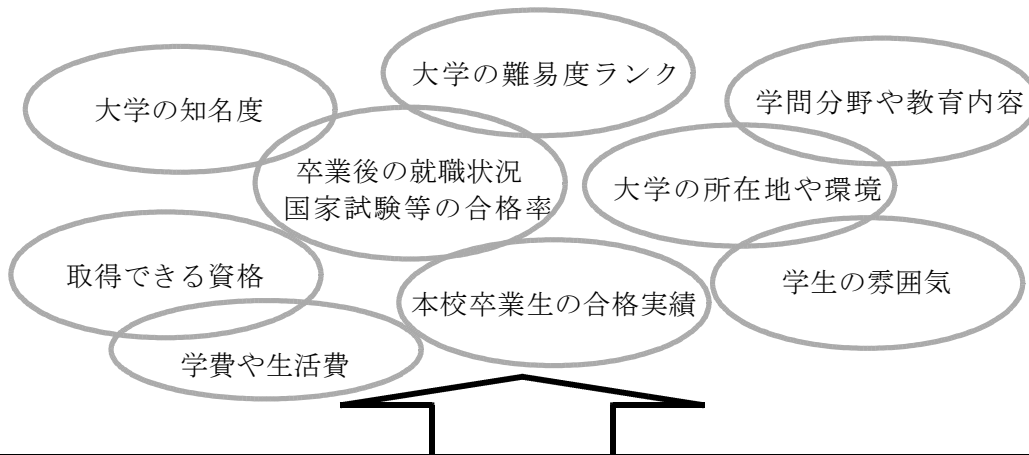
1, 2年生の生徒にとって、大学での学びはどのようなものかを実際に足を運び自分の目で確かめることは貴重な機会であり、その観点から大学での体験の機会は意義深いものですので今回の中止は残念ですが、ご了解ください。

大学入試に関する基本講座 「大学選び」

3年生が、受験先を絞り込む時期に突入しました。得点の伸びももちろん受験大学選択の大きなカギですが、まずは、大学選択をしっかりと考えることが重要。1, 2年生も同様です。

大学を選ぶ視点

何を最優先にして選ぶのか？



なぜ大学に進むのか。将来どのような生活をしたいのかを自身に問いかける！

☆大学の現状や動向

- ①学部や学科の境界が緩くなっている。文理融合型の学部・学科も増加傾向にある。
(例)入試ではまとめて募集し、入学後に専門領域・学科を決めさせる。
(例)基礎となる共通教養を重視し、他学部の授業も学べるようにする。
- ②国際性の重視の学科や、新しい領域の学問・学科ができています。
(例)環境問題の研究をするに当たって、生物や化学や工学的なテクノロジーだけでは不十分とし、国際政治や異文化理解などの視点も求められる。
(例)文系で農業生産を学び、国際的に農業で活躍できるようにする。
- ③文・理系を問わず、多くの大学で、英語力(いわゆる英語の4技能)を重視する傾向が強まってきている。英語関係の資格取得者対象の入試制度も多く導入されてきた。(上記②にも関連)
- ④就職・キャリア支援のサービスに力を入れている。
- ⑤経済的に困難な生徒に対して、大学独自の奨学金制度を設けている私大が多い。
- ⑥高大接続および大学入試改革が目前に迫っていることも起因し、学部・学科の新設や改組、受験科目や定員枠の変更が相次ぐ。現に、2020年度入試についても、多くの国公立大学や私立大学でそのような変更を提示している。
- ⑦理系の学部・学科の学生は、大学院まで視野に入れた勉強が求められている。医薬学系はもちろんのこと、理・工学部は大学院進学者が大部分を占めている。

※出願方法は、インターネット出願が主流となっている。